

2011.4月号

平成23年4月10日発行

発行元 NPO法人陽だまり
発行元住所 〒739-0043
東広島市西条西本町27-37高貴ビル201
電話 082-422-4115
<http://www.npo-hidamari.or.jp>

主な記事

平成22年度を振り返って

東京視察報告

代表「助け合い支え合いの心」/会員のひろば

事務局だより

「子育て支援」「交通問題」「協働」の3つの重点課題について、取り組み状況を報告します。

子育て支援

春休みの2日間(3/28、3/29)、中国新聞蓮池新聞舗(西条中央6丁目)の2階大会議室にて、子どもの居場所づくり事業を行いました。今回は、企画段階から広島国際大学の学生さんに参加してもらい、午前中は勉強、午後は凧作りとカルタ作りをしました。地元の高茂高校や西条農業高校からも、たくさんのお姉さんボランティアが来てくれ、子どもたちは大喜びでした。小学生が大学生・高校生に勉強を見てもらっている間、大人ボランティアは昼食のカレーを作りました。とても美味しくできて好評でした。お米や野菜のほとんどは、会員さんからの寄付

です。自分の畑で採れた物などを持ち寄ってくれました。午後の活動も、子どもらしい斬新な発想が爆発し、笑いの絶えない一日となりました。協力してくださったみなさん、ありがとうございました。この2日間で参加した児童は延61人、ボランティアは延24人でした。なお、この模様は3/30、朝のNHKニュースで放映されました。



三ツ城公園で凧あげ



個性豊かなカルタ「ほしのひるね」「ふうふのうみそ」

協働

昨年度は、島根県松江市で開催された「NPO活動推進自治体フォーラム」や、広島NPOセンター主催の研修「CB/SB支援事業、新しい公共支援事業をNPO・行政・企業・中間支援組織はどう生かすか」に参加し、協働について学びを深めました。その結果、協働の第一歩は、



NPO活動推進自治体フォーラム
第1分科会の様子(11/19開催)

交通

移動サービスを行う団体のネットワークに加入し、研修に参加しました。また昨年度は全4回の地域交通会議のうち3回を傍聴しました。

「とにかく行政と市民が同じテーブルについて同じ課題を考える、これに尽きる」ということだと思いきり、研修会を企画することにしました。この研修会は、東広島市職員、一般市民、NPO団体・市民団体、東広島市議会議員などを対象としています。これまでこの種の研修会が東広島になかっただけに、新たな出会いの場になればと願っています。

常設の子どもの居場所づくりを実現させるため、平成 22 年 12 月 3 日（金）～4 日（土）、事務局スタッフ 3 人が先駆的な取り組みを行っている NPO を視察しました。

**NPO 法人地域の寄り合い所
また明日（東京都小金井市）**

民間アパートの1階5世帯分のスペースをワンフロアに改修し、子どもの通う「保育園」と認知症の高齢者が通う「デイホーム」「地域の寄り合い所」の異なる3つの事業が一つの建物の中で運営されています。



東京視察報告

代表理事の森田さんに開設までのいろいろな問題点、大家さんの協力、人とのつながりの大切さなどお聞きしました。



おやつの中には、1つのテーブルを子どもたち、お年寄り、母親、スタッフが囲み、お年寄りが小さな子どもに食べさせるといった場面が見られました。穏やかな時間がゆっくりと過ぎていきます。認知症の高齢者にとって、子ども



たちの面倒をみたりすることは、感情を豊かにし、生活の意欲を高めるそうです。赤ちゃんから高齢者までが一つ屋根の下で大家族のように一緒に過ごし、自然な関わり合いが生まれる世代間交流の場となっています。



**NPO 法人鎌倉てらこや「てら
ハウス」（神奈川県鎌倉市）**

子どもたちの居場所づくりを目的に、大学生、青年会議所、市民ボランティア、寺、神社など多様な人材を巻き込んだ多世代参加型の事業を行っています。「てらハウス」では毎週土曜日、2時間学び、3時間本気で遊ぶ。教材やプログラムはなく、子どもたちが自ら学びたいことを学び、それを大学生



がサポートします。昼からの遊びの時間は、その時の気分や思いつきでやることを決めるそうです。

視察に訪れた日は、電車に乗り、海へ釣りに出掛けることになり、私たち3人も同行しまし



た。そうして過ごす時間から子ども自身が「やりたい!」と思うことを発見し、どうし

たらいいかを考え、自らの力で実現していく「生きる力」を身につける場所となっています。

※ この視察は、「東広島市市民協働のまちづくり活動応援補助金」から補助を受けて実施しました。

（報告者：山本三千代）

助け合い支え合いの心

代表 廣瀬 長子

日を追うごとに東日本大地震の被害の甚大さが明らかになっています。多くの方々が家族、友人、知人そして我が家を失った悲しさ、辛さは筆舌に尽くしがたいと思います。心からお見舞い、お悔やみを申し上げます。そして一日も早い復興を願い、私たちに何ができるか考えたいと思います。

誰もが肉親と別れ、友人と別れそして伴侶とも分かれ、最後は自分自身も皆に分かれを告げて土（自然）に還って行きます。しかし、この度のように一瞬にしてしかも目の前で、かけがえのない人や我が家を失うことは、こんなに非情なことがあっていいのかと思わないではいられません。

人は悲しい事や辛い事を経験すると、その分他の人にやさしくなれる、と本で読んだことがあります。確かにそれを理解できます。自分が経験したからこそ、悲しさ辛さがどんなものか理解できるのです。そして相手の気持ち立場になって考えられるようになると思うのです。

私も70歳を前にしてそのようなことを常に考えるようになりました。特に連れ合いを亡くしてからはその思いが強くなったように思

います。高齢になると涙もろくなるとよく言われますが、それは老化のせいで涙腺が緩くなったからだともいわれます。そうかもしれませんが、それだけではないと思います。長年生きてきて、それこそ様々な経験をしています。時には胸が引き裂かれるほどの悲しみ、いても立ってもいられないほどの不安な気持ちなどです。相手の悲しみ苦しみなどを自分自身の身に置き換えて考えるのです。だから相手の心や気持ちが痛いほどわかるのです。

相手の話に耳を傾け、共に喜び共に悲しみ、寄り添って生きていけたらといつも思います。年令と共に思考力、記憶力、体力などは衰えていきます。「老いる」とは失うものがいかに多いかということだと思えます。寂しいけれどそれを受け入れ、年を取っても失われていかない物は何かを考えてみることも大切ではないでしょうか。

この度の震災で全国で支援の輪が広がっています。とてもうれしいことです。このような時にこそ力を合わせ、助け合い支え合いがどれほど大切であるか、改めて考えてみたいと思います。

会員の広場

かげろうの

燃え立つ線路

春近し

春子

川面に

映るもみじの

あでやかさ

近松幸江



事務局だより

有料・移送サービス

平成 23 年 2 月 27 日（日）、岡山県新見市で「中四国移動セミナー」が開催され、塩谷副代表、事務局スタッフ市川・石井の 3 名で参加しました。ここでは移動サービスの現状と課題を明らかにし、「誰もが自由に移動できる社会の実現」という地域課題について話し合われました。

現在の福祉有償運送は道路運送法のくくりの中で実施されているため、サービスを利用する側にも運転する側にも制限があります。また、移動サービスを行う団体は、各地域の独自の決まり（ローカルルール）など様々な条件を満たした上で初めてサービスが実施できます。交通弱者にとってこの福祉有償運送は必要不可欠なサービスですが、運営団体数は、①法の壁 ②ローカルルール ③赤字事業などの理由で伸び悩み、NPO による運営に至っては減少の一途を辿るという非常に厳しい報告でした。

そんな中、岡山県総社市や島根県の中山間地域では福祉有償運送の重要性を行政が認め、助成金を支給し後押ししているという、希望の光とも言える貴重な報告がありました。

昨今、「無縁社会」「孤独」という言葉をよく耳にします。これは「地域との関係が切れてしまったこと」を意味します。関係をつくるには「外出」「移動」は大事です。都市でも田舎でも移動手段に格差のない、「東広島に住んでいてよかった」と言えるような街づくりを目指して、福祉有償運送の輪を地域に広げて行きたいと思う一日でした。（報告者：石井弥生）



訪問介護

平成 23 年 2 月 6 日（日）、1 月に行われた「プロ介護研修」を受講した 3 名のヘルパーが講師役となり、伝達講習会を開催しました。3 名の講師役は、自分たちが聞いてきた大切な事柄を、図表にまとめるなど工夫して他のヘルパーに伝えました。その発表が、「介護とは何か?」「その人らしい生活って何だろう?」とみんなで考える機会となりました。いろいろな意見が出ましたが、介護とはその人に関わること、残存機能を引き出し、出来ない部分を支援すること。その人らしい生活とは、人として当たり前の生活ができること、なのだろうと思います。介護技術では、生活の基本である座位をとるための移動方法など、基本をしっかり学びました。（報告者：佐々木政美）



義援金の報告

東日本大震災義援金の呼びかけにたくさんの方から善意をお寄せいただき、242,700 円もの義援金が集まりました。この義援金は、4 月 5 日に東広島市社会福祉協議会を通じて中央共同募金会へ送らせていただきました。ありがとうございました。



廣瀬代表（左）と高橋社協事務局長